

事務事業名	電気小型バス実証運行事業		会計	一般会計		事業種別	政策	開始	23	終了	
H27担当課等名	商業・市街地活性化課	H27係等名	中心市街地活性化係		H26係等名	中心市街地活性化係					
基本計画上の位置づけ	政策	8	山・里・街の魅力を高め、交流と連携によるグローバルなまちづくり								
	施策	84	活気ある街づくりの推進								
目的	対象(誰・何を)	中心市街地					指標名及び単位		26年度数値		
	意図(どういう状態にするか)	より多くの来街者や観光客が周遊する楽しいまちにする					対象指標	中心市街地の面積(ha)		151	
	向上させたい上位施策の成果指標	まちなかの6スポットの1日あたりの延べ歩行者数									
目標	種別	指標名及び単位			26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)		
	成果指標	乗客数			5000	8573	5000	5000			
	定性目標										
事業概要	<p>JR飯田駅、りんご並木、川本喜八郎人形美術館、飯田市立動物園、飯田市美術博物館などの施設を結び、中心市街地を循環する電気小型バスの実証運行を行う。また、電動車両の活用による低炭素化社会の構築を図るとともに、歩いて楽しく快適なまちづくりを推進する。</p> <p>補足:電気小型バスは、『丘のまちプチバス「ブッチー」』の愛称があり、いいだ人形劇フェスタマスコットキャラクター「ぼお」のペア的なキャラクターである「ブッチー」のキャラクター絵図を車体にデザインしている。また、実証運行のため、乗車運賃は無料としている。乗車定員は1回10名である。</p> <p>実績:23年度⇒総務省「緑の分権改革調査事業」として電気小型バス運行を実施した。 24年度⇒飯田市中心市街地活性化協会が、長野県地域発元気づくり支援金を受けて電気小型バス運行を実施した。 25年度から飯田市による実証運行を実施中。</p>										
26年度事業内容	事業内容				名称				活動指標		
	23年度～25年度の実証運行社会実験を踏まえ、動物園利用者などを視野に入れ土日祝日を中心に運行、いいだ人形劇フェスタやりんご並木歩行者天国、飯田丘のまちフェスティバルなどのイベントにもあわせて運行				1 運行日数 2 運行便数				1 88日 2 1,060便		
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足					
事業費計(千円)①		2,174	2,370	2,296	2,370						
国庫支出金											
県支出金											
起債											
その他											
一般財源		2,174	2,370	2,296	2,370						
人件費計(千円)②		1,288		1,788							
正規職員所要時間		300		500							
臨時職員所要時間		200									
総事業費①+②		3,462	2,370	4,084	2,370						
事業内容・目標達成状況の振り返り	子ども連れ家族や観光客の乗車が多く、中心市街地の回遊性を高めるとともに、賑わい創出・活性化につながっている。平成26年度は、動物園前に停留所を新設し、動物園の来園者を中心市街地へ誘導するようにした。										
改革改善の考え方	①問題点	1回の乗車定員が10名であり、時として乗り切れない状況がある。									
	②改革提案	まちなか遊覧、歩きの補助的手段としての運行を基本としながら、より多くの人々が体験できる仕組みが必要である。									